

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—179476

⑬ Int. Cl.³
A 23 L 2/38
A 61 K 35/78
// A 23 L 3/16

識別記号

庁内整理番号
7235—4B
7138—4C
7115—4B

⑭ 公開 昭和58年(1983)10月20日

発明の数 1
審査請求 有

(全 2 頁)

⑮ 生薬飲料

静岡市西草深町26番12号

⑯ 特 願 昭57—60785

⑰ 出 願 人 海野録三郎

静岡市西草深町26番12号

⑱ 出 願 昭57(1982)4月12日

⑲ 代 理 人 弁理士 加藤静富

⑳ 発 明 者 海野録三郎

明 細 書

1 発明の名称 生薬飲料

別異の原料を使ったものの様になってしまう欠点があった。

2 特許請求の範囲

糖・アルコール等を主成分とする生薬の混合母剤に炭酸若しくは之と同効質材を加えて生薬の変色を防止させたことを特徴とする生薬飲料。

本発明は、この欠点を解消するためになされ

たもので、糖・アルコール等を主成分とする生薬混合母剤に、炭酸又は之と同効質剤を加えて混合する生薬の変色を防止し、生薬の色が活きた商品価値の高い生薬飲料を提供することを目的とする。

3 発明の詳細な説明

本発明は、混合した生薬が変色しない商品価値の高い生薬飲料に関する。

次に本発明の詳細に付いて説明する。

従来、糖・アルコール等を主成分とする生薬の混合母剤に生薬を混和した生薬飲料が健康食、栄養剤として多く販売されているが、殆んどの商品が生薬の色を失い、例えば、茶、ほうれん草、その他の粉末等の様に、鮮かな緑色を呈するものが、混合母剤に混同してこれと親和させた場合は、茶褐色、黒褐色等に変色し、全く

例えば、アルコール飲料を水飴（異性化糖）に混合して親和させた生薬の混合母剤、或は、酵母、酵素を水飴（異性化糖）に混合して醗酵させた生薬混合母剤に、炭酸ガスを水に溶解した炭酸水（之と同効の他の酸でも可）を加えて良く混和したものに、鮮緑色の茶の粉末を加えたところ、その理由はわからないが、炭酸水を

加えない混合母剤の場合は、添加後1～2日で茶褐色乃至は黒褐色に変色したものが、3ヶ月以上を経過しても鮮かな緑色を保持し、茶の粉末を加えた生薬飲料を湯により薄めると、一般の緑茶を急須に注湯して出したものと同じ様な水色が得られるインスタント緑茶が得られるもので、緑茶の代りにほうれん草やその他の緑色生薬を用いて実験した結果においても同様の製品が得られ、又、紅茶の様な褐色系の生薬について実験した結果は従来通りであった。然も、この生薬飲料は、混合母剤に炭酸等を加えるだけであるため、これの添加は混合母剤に対しても生薬に対しても何等の影響がなく、従って、生薬による保健と栄養増進の効果はいささかも阻害されず、却って、葉緑素の効果が生きるものである。

ール(日本薬局方) $40 \frac{v}{v}$ のもの20%, 二酸化炭素水40%を混合し、1日3回の攪拌を2日間続けた後、2日間放置して充分に親和させ、混合母剤を得た。この混合母剤に緑茶の粉末20gを投入し、1日3回の攪拌を2日間続けて、緑茶の粉末を母剤に平均に分散混合させて生薬飲料を得た。その結果、この生薬飲料は、緑茶特有の鮮緑色を保有し、びんに入れて蓋をし、時々開蓋して状態を検査しながら6ヶ月間保存したが、色の変化も質の変化も認められなかった。

実施例2

糖水86%, 水分14%のイオン交換樹脂晒水飴100ccに、酒精エタノール $40 \frac{v}{v}$ のもの20%, 二酸化炭素水4%を混合して混合母剤を調整し、この母剤に実施例1と同様に緑茶

殊に、この生薬飲料は、糖又はアルコールを主成分とする混合母剤を用いるから、対象者によって口当りを様々に変化させ、甘味を好む幼児用から辛統の大人迄に広く適用させ得るだけでなく、日持ちが良好で常温の大气中で数ヶ月変質腐敗せず、びん、缶に詰めれば数年以上の保存に耐えて使用上に便利であり、且、用法も薄めて飲用にするだけでなく、飴の様なめたり、ジャムとしてパン等に付けて食することも出来て、用法にも多用性を有する特有の効果を奏する。

次に本発明に生薬飲料の実施の一例を説明する。

実施例1

グルコース4%, デキストリン4.2%, 水分17%の酵素糖化水飴100ccに酒精エタノール

の粉末を添加した結果、実施例1と同じ製品が得られた。

実施例3

精製水100ccに酒精エタノール $76.9 \frac{v}{v}$ のもの100ccと、二酸化炭素水4cc、砂糖3ccを混合して混合母剤を調整し、この母剤に実施例1と同様に緑茶の粉末を混合した結果、実施例1よりも粘度の低い液状の生薬飲料が得られた。

特許出願代理人 加藤 静

